

2月4日(火)に災害時被害状況確認訓練を実施します！

神奈川県では、大規模地震や大雨等により県内で大規模な災害が発生した場合等に、県及び市町村等が関係機関と連携し迅速な対応ができるよう、パソコンやスマートフォン等のメール機能を使って障害児者が居住又は通所する施設等（グループホーム等を含む。）の被害状況を確認する機能を「障害福祉情報サービスかながわ」に整備しています。

令和元年台風19号（10月12日神奈川県上陸）の際には、初めて本システムを実際に運用（12日22時～15日18時）し、60.0%の施設等から報告をいただきました。報告の中には、グループホーム等の利用者の避難先に関する情報や施設の被害状況、障害者を緊急に受け入れ可能であるとの情報など、大規模災害発生時には欠かせない貴重な情報が多く寄せられました。これらの情報については、一部市町村に提供するなどの対応をしたところですが、さらなる有効活用が望まれます。

この度、大規模災害時に円滑に運用できるよう、次のとおり訓練を実施することといたしましたので、訓練にご参加くださいますようお願いいたします。

今回は、令和元年台風19号（10月12日神奈川県上陸）を上回る大雨が予想されるとの横浜地方気象台からの発表があったという想定で実施します。（介護関係施設も同時に同じ訓練を実施します。）

なお、この訓練に引き続き、大規模災害発生時に高齢者や障害者等の要配慮者を支援することを目的として、県が関係団体等と協働して構築しているかながわ災害福祉広域支援ネットワークによる介護職員等の派遣調整に係る連絡体制の強化に向けた訓練を実施する予定です。

1 対象施設

「障害福祉情報サービスかながわ」にお知らせ配信用メールアドレス又は災害時被害状況調査用メールアドレスをあらかじめ登録した以下の施設等

- | | |
|--------------------|-------------------|
| (1) 障害者支援施設 | (2) グループホーム |
| (3) 短期入所施設（単独型） | (4) 療養介護事業所 |
| (5) 生活介護事業所 | (6) 自立訓練（機能訓練）事業所 |
| (7) 自立訓練（生活訓練）事業所 | (8) 就労移行支援事業所 |
| (9) 就労継続支援A型事業所 | (10) 就労継続支援B型事業所 |
| (11) 福祉型障害児入所施設 | (12) 医療型障害児入所施設 |
| (13) 児童発達支援事業所 | (14) 医療型児童発達支援事業所 |
| (15) 放課後等デイサービス事業所 | |

2 訓練の流れ

- (1) 事前作業（1月24日(金)～2月3日(月)）

各施設等は、次の内容について（別紙1）の「事前確認表」を用いて確認してください。（県への提出は不要です。）

ア 令和元年度における従業員への非常災害対策計画等の周知状況

イ 令和元年度における避難訓練の実施状況

ウ 施設等の所在地の地理的条件を踏まえた対応状況

エ 令和元年台風19号（10月12日神奈川県上陸）程度以上の降雨量があった場合に想定される施設等の被害状況及び利用者対応

- (2) 訓練当日（2月4日(火) 10時～18時）

ア 以下の想定により、県と各施設等との間で情報の受発信訓練を行います。

（ア）数日にわたる長雨が続く中、2月4日(火)午前8時30分、横浜地方気象台から県に午前9時に大雨特別警報を発表するという事前連絡がある。

※ 令和元年台風19号（昨年10月12日）を上回る規模の降雨量を予想

- (イ) 午前 9 時 県は、災害対策本部を設置
- (ウ) 午前 10 時 このことを受け、障害サービス課は（別紙2）の「訓練メール」を一斉送信する。（送信所要時間約 20 分）
- (エ) 午前 10 時 10 分～ メールを受信した各施設等は、速やかに被害情報等を返信する。（被害状況は各施設で任意に想定してください。）
- ※ 回答のない事業所へは、2 時間ごとに調査メールが自動再送信されます。
- (オ) 午後 6 時 訓練終了（障害サービス課において、回答件数を確認し、ウェブサイト「障害福祉情報サービスかながわ」の「お知らせ」に掲載する。）

イ 調査項目

- (ア) 利用者の負傷者数
- (イ) 職員の負傷者数
- (ウ) 施設の被害の有無（被害無し、建物損壊・火災・床下浸水・床上浸水・電気不通・ガス不通・その他）
- (エ) 施設外へ避難が必要な人数
- (オ) 他施設等から受入可能な避難者数
- (カ) 他施設等へ派遣可能な職員数
- (キ) 連絡事項（※自由記載項目）
- (ク) 送信者職・氏名
- (ケ) 使用可能な連絡先（電話・PC メール・携帯メール）
- (コ) その他連絡可能な連絡手段
- ※ 「連絡事項」欄には、次の事項を入力してください。
- a 回答に使用している端末の種類（スマートフォン等又はパソコンの別）
 - b 回答時点において、施設内にいる利用者及び従業員の人数
 - c 想定される被害状況等
 - d 想定している災害時の避難先・避難方法等

<ご注意>

- ・ 訓練用被害状況調査メールは、お知らせ配信用メールアドレス（パソコン用メールアドレス）及び災害時被害状況調査用メールアドレス（スマートフォン等）の両方に配信します。できる限りスマートフォン等からご回答ください。
- ・ 業務に支障のない範囲で、被害情報等をご返信ください。
- ・ 報告内容には、「送信者・職氏名」以外の個人情報は記載しないでください。
- ・ 返信がない施設には、自動的に 2 時間ごと（12 時頃、14 時頃、16 時頃）に再度メール送信するシステムとなっています（返信済みの施設には再送信されません）。

3 その他

今回の被害想定等に当たっては、次の資料を参考にしてください。

- ・ 想定シナリオ（案）
- ・ 水害・土砂災害の防災情報の伝え方が変わります
- ・ 土砂災害警戒情報について

○問合せ先 神奈川県福祉子どもみらい局福祉部障害サービス課事業支援グループ
電話 045-210-4717(直通)
045-210-4732(直通)